

なかしゅんべつ

2010

12

No.395



目次

竹田國男氏根室農業大賞を受賞2～3	宮農対策情報…………… 11
決起大会…………… 5	年金友の会川湯秋季旅行…………… 14
青年部のページ…………… 6～7	理事会の動き…………… 18
女性部のページ…………… 8～9	年末・年始の業務日程表…19

竹田國男氏が根室農業大賞を受賞されました。

平成22年度 根室農業大賞表彰式



「王・草・牛づくり」を基本とした酪農畜産と活性化及び発展向上に貢献

竹田國男氏 根室農業大賞を受賞

根室農業大賞委員会(佐々木喜一郎委員長)では、去る11月19日に平成22年度(第3回)根室農業大賞表彰式が、中標津町寿宴にて開催されました。

この賞は、昭和52年8月「根室管内農業賞」として生まれました。農業経営に限らず農協運動の功労者を含む



出し、根室農業の発展の功績を讃える顕彰制度として、再び引継がれたもので、今年で3回目となります。平成22年度は、当地域から美原地区の竹田國男氏が功績を讃えられ受賞いたしました。

「功績」氏は、旭川市永山で稲作経営を営む長男として昭和16年に生まれる。

道立永山農業高校を卒業後、実家である稲作に従事しながらホルスタインを育成していたが、これからは酪農であると見据え、昭和35年開拓者として現在地に入植したが、当時はビートを作付けしたものの湿地等土地条件が悪いため収量が上がらず、酪農专业化を目指すも目標達成には至らなかった。

ものでした。農業経営の実践活動についての功績、農業協同組合運動の発展に寄与した者への表彰を意図とし、平成19年度までの31回の表彰で188人に及ぶ功労者が表彰されており、平成20年度から根室農業大賞として新しい意義を見

昭和39年、氏は同じ悩みを持つ入植者と協議し、この打開策は先ず乳牛の質の向上を図ることが先決と判断し、根釧パイロットファームホルスタイン改良同志会を組織し、種雄牛の選定、優

祝賀会 記念受賞 根室酪農大賞 平成22年度 男氏 行司



小湊組合長が世話人となり、11月25日受章記念祝賀会が開催されました

良雌牛の導入と普及、乳牛審査技術の養成に努め、地域・農協が一体となって乳牛改良に意欲的に取り組み、氏はその中心的役割であった。

当時の根室管内にあつては、先進地である地区外からの乳牛導入が主流をしめており、冷涼な気候、土壌、環境条件の中で「酪農王国・根室」を目指し、「土・草・牛」の研究が本格的に始動した頃、管内の同志及び氏が発起人となり「ネムロ ブリーダーズホルスタインクラブ」を結成した。その後、同クラブ主催の第1回管内ブランク&ホワイトショーが地区内で開催され、地元及び管内乳牛改良の基礎を築くとともに、その後も関係組織の要職に就きながら現在に至る乳牛改良に大きな貢献をされた。

氏の酪農経営における乳牛改良と不屈の開拓魂、同志の絆を重んじる姿勢は地域より高く評価され、昭和41年旧根釧パイロットファーム開拓農協の理事に就任し、旧中春別農協との合併後、56年には理事、平成13年代代表理事組合長に就任した。

代表理事組合長就任後、安定した酪農畜産経営に向け経営の体質改善を基本としながら、生産物の品質向上、経営コスト低減、経営管理・生産技術の向上を図ることを目的に、「活気と潤いに満ちたゆとりある中春別」と題した酪農畜産チャレンジ計画を樹立し、現在に至る当地域の酪農振興・地域振興に尽力された。

一方、関係機関にあつては、北海道農協酪農畜産対策本部委員、ホクレン生乳受託販売委員、北海道酪農協会副会長、全国酪農農業協同組合連合会理事、北海道チクレン農業協同組合連合会経営管理委員等要職に就きながら、農水省関係部署担当官との太い信頼関係のもと、酪農畜産対策の課題解決と実現に向け奔走し、根室管内及び北海道酪農畜産の発展に大きく貢献された。氏は数多くの要職を担いながら経営を移譲後も乳牛改良への情熱は強く、「土・草・牛づくり」を基本とした酪農畜産振興と地域社会の活性化及び発展向上に貢献された功績は顕著である。

一略歴

- 昭和41年～昭和47年 根釧パイロットファーム開拓農協同組合理事
- 昭和53年～平成13年 北海道ホルスタイン農業協同組合理事
- 昭和56年～昭和58年 根釧パイロットファーム中春別農協同組合理事
- 平成元年～平成22年 中春別農業協同組合理事
- 平成13年～平成13年 社団法人ジエネティクス北海道理事
- 平成13年～平成22年 中春別農業協同組合代表理事組合長
- 北海道農協酪農畜産対策本部委員会委員
- 全国酪農農業協同組合連合会理事
- 北海道チクレン農業協同組合連合会理事
- 平成14年～平成22年 ホクレン生乳受託販売委員会委員
- 根室地区酪農対策協議会副会長
- 平成14年～平成16年 北海道酪農協会理事
- 平成17年～平成22年 北海道酪農協会会長
- 平成18年～平成22年 別海町内農協連絡協議会会長
- 平成21年～平成22年 財団法人北海道農業開発公社理事
- 社団法人北海道草地協会理事

農水省生産局畜産部との

平成23年度農林水産予算概算要求に係る意見交換並びに国会議員への要請



中春別酪農対策協議会(会長・望月英彦)による農政運動を去る11月10日～12日に実施いたしました。



新年度予算編成に向け、8月に概算要求・要望されている農業予算をもとに、内容の確認を行いながら次期対策への提言や要望を示してまいりました。

政策決定までの行程等、一新されている戸惑いもありましたが、限られた時間の中で精力的に実施いたしました。

特に、関連対策面では平成22年度で終期を迎える政策全般について、重点的に継続強化の必要性を要請し、中でも、資源循環型酪農推進事業(旧酪農飼料基盤拡大推進事業)の予算確保しなければならぬことを強く要請いたしました。

また、我々の乳価は用途別販売により構成されており、昨今の世界的な情勢(乳製品価格・穀物相場・原油価格・肥料原料相場など)が短



期的に変動し、結果として所得の増減が激しい状況にあります。については、中長期視点に立った所得確保に対するセーフティネット対策が絶対的に必要であること、加えて所得以外にも生産安定供給面から需給調整に対する制度設計は急務であることを要請いたしました。

当地区にとって、重要予算である自給飼料基盤対策の総合取組に関わる事業である強い農業づくり交付金が平成22年度で仕切り直しされており、平成23年度予算では一般予算化(政策コンテスト)されていること、公共事業などそのあり方が大きく変化し、事業廃止や見直し、ひも付き補助金の縮小廃止の動きとなっており

ます。このことを踏まえ、当地域における草地整備事業への推進体制に多大なる影響を及ぼす懸念を具体的に訴え、現在進行中の事業地区完了時期の円滑なる執り進め、継続的な事業の必要性について要請いたしました。

農水省では、酪農主産地における当地区の実態と現状を熱心に聞きながら、意見交換の対応を頂き、活発な内容となりました。

2日目、議員会館へ出向き、与野党の各国会議員へ要請し、特に国営環境保全型かんがい排水事業とTPP(環太平洋経済連携)交渉の断固反対を訴え要請書を提出し、お願いして参りました。

また、11月17日～18日、中司道議・道農政部との意見交換会を実施しております。

(要請者)

- 会長 望月英彦、
- 副会長 伊藤一吉、
- J A中春別
- 理事 藤倉紀夫、
- 理事 西川寛稔、
- 青年部 部長 石森裕治、
- 事務局 友貞、相澤、計7人

道民総決起大会



地域社会のあり方など
「この国のかたち」を問う！

北海道農業協同組合 中央会・北海道漁業協同組合連合会・北海道森林組合連合会では、去る11月12日例外なき関税撤廃を原則とするTPP（環太平洋経済連携協定）への参加に反対する道民総決起大会が、札幌市で開催されました。

会場には全道から農林漁業者・経済団体・消費者団体など約1700人が参集（当農協から7人）し、交渉参加反対などを強く求める大会アピールを採択。

先ず、主催者側から北海道農業協同組合中央会飛田稔章会長の挨拶、続いて高橋はるみ北海道知事が激励の挨拶。また、北海道経済連合会の坂本真一副会長・北海道消費者協会の橋本智子会長によるTPP交渉への参加反対を訴えました。

決起大会アピール

- ◎例外なき関税撤廃を原則とするTPP交渉への参加に反対する。
- ◎政府は、これまで同様すべての貿易交渉にあたり、例外措置として重要品目の関税を維持すべきである。
- ◎地域社会のあり方や「この国のかたち」について、十分に時間をかけ議論を深め、国民の合意形成を図るべきである。

地域経済を壊滅する TPP交渉参加を断固阻止！

根室管内 総決起大会



のであり、根室管内の基幹産業である農林水産業ばかりでなく、金融、保険、医療など、幅広い分野の規制廃止となり、このことはわが国の形を一変させる大問題であり、地域経済は壊滅的な打撃を受けるとの声を上げました。

根室管内農協組合長会と根室地区酪農対策協議会では、TPP交渉への日本参加を断固阻止する総決起大会を650人（当農協77人参加）参加のもと、中標津町で開催されました。

TPPは例外なき関税撤廃を目指すも

平成22年12月4日中標津町で開催



大会
テーマ

『CHALLENGE～新時代の農業を自ら創り上げるために～』



一致団結する根室地区青年部の皆さん



質問に答える石森部長

当農協青年部（石森裕治部長）から11人の部員が参加いたしました。

去る11月4日、JA根室地区青年部連絡協議会主催による根室地区青年部大会が、中標津町寿宴にて開催され、

青年部大会には、根室地区共済組合事業部損防検診課課長・太田智志氏を講師に招き、「宮崎県口蹄疫対策に参加して」と題した講演を行っていただきました。その後、参加した部員は各分科会会場へ移動し、分科会ごとのテーマを設け、自分の考えや意見、経験談を述べました。

その後、全道青年部大会において開催される青年の主張発表大会・アームレスリングなどが開催されました。当青年部からはアームレスリングに中山泰輔氏、青年の主張発表には久保光大氏がそれぞれ参加しました。結果は惜しくも全道大会にはコマを進めることは出来ませんが、アームレスリングの中山泰輔氏は準優勝と中春別代表にふさわしい戦いぶりでした。

青年の主張発表大会・アームレスリングの全道大会には計根別地区の杉本氏・山本氏が出場することとなり、全道大会でも他の地区を寄せ付けない力を発揮して優勝を目指し頑張ってください。

青年部のページ

くるるの杜と連携し、乳製品の消費拡大を計画

中春別農協青年部では11月10日、11日の2日間にわたり、苦小牧、北広島方面へ視察研修が実施されました。1日目は苦小牧にあります日本ニューホランド(株)デポ



機械が所狭しと陳列されており、従業員のメンテナンスの完了後、取引き先へ納車されるそうです。2日目は北広島市にあります、くるるの杜へ行きました。

苦小牧工場へ視察に行き、担当者からの概要説明を受けた後、工場内を見学しました。苦小牧には北海道最大の貿易港があることから、苦小牧工場には当日も作業

食と農のふれあいファームということで、体験農場や農作物を調理、加工する体験施設もあり、消費者が食と農のつながりを実感できる場として人気を得ています。また、農畜産直売所や農村レストランも隣接されており、採れたての農作物を味わうことができます。青年部では今後くるるの杜での消費拡大運動を計画しており、訪れた観光客に別海町で生産された乳製品を味わってもらおうと思っています。夜には懇親会を開催し部員同士の交流を深め、両日とも有意義な視察研修になったのではないのでしょうか。



「食」と「農」の大切さを 幅広く発信、次世代の担い手の育成

平成22年12月2日～3日にかけて、札幌パークホテルにて第59回全道JA青年部大会が開催されました。

「With You ~故郷を想う~ 築き上げよう〈dream〉夢が持てる農業へ」

大会テーマ「With You
〜故郷を想う〜 築き
上げよう〈dream〉夢が持て



る農業へ」のもと、JA運動の結束強化、安全・安心、信頼の得られる農産物の生産、「食」と「農」の大切さの幅広

い発信、次世代の担い手の育成を目的に開催され、全道から600人、当青年部からは5人の部員が参加しました。
分科会では、テーマ別に「稲作・畑作青果」「酪農畜産」「食農教育・JA青年組織」

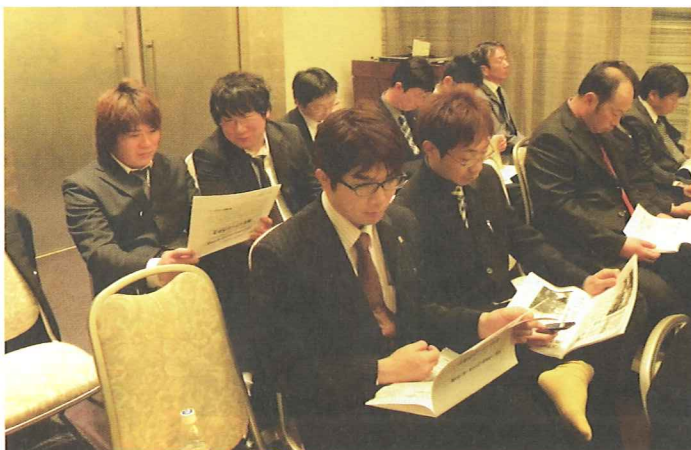
「担い手対策」の6会場に分かれ、講師からの説明のもと幅広く討議・情報交換を行い、当青年部は「担い手対策草食男子脱出作戦！」に全員で参加。参加者の3分の2が独身者であり、こともあり、講師の話を真剣に聞いていました。

記念講演では「土づくりの考え方」土壌管理法「省耕起」のすめ」と題し、北海道

大学大学院農学研究

院准教授の相馬尅之氏より講演が行われました。
大会では「青年の主張」や「青年部活動実績発表」が行われ、それぞれ部員が思いを込めて発表されていました。

また、懇親会が開催され、今大会を通じ他農協青年部の方々との交流もあり、それぞれが情報交換などを行うことができ充実した2日間となりました。



協同の輪をひろげ、 暮らしの向上を目指そう

11月11日から12日にJ A北海道女性協議会主催、全道女性大会・家の光大会がガトーキングダムサッポロにおいて開催されました。



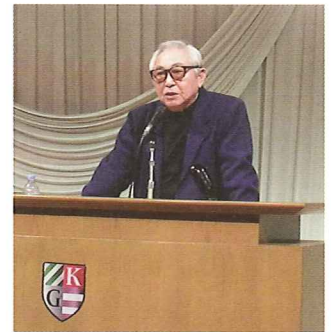
真剣に聴きいる畠山部長と浮川副部長

また、2日目は全道女性大会が開催され、「JA女性 気づこう一人ひとり、行動しよう仲間とともに」をメインスローガンに実践している中で「女性の行動力で新

当農協女性部からは畠山友子部長、浮川優子副部長が出席いたしました。1日目の家の光大会が開催され、家の光記事活用体験発表、家の光記事読み聞かせ、倉本

聰氏による講演会が行われ、『あたり前の暮らしを求めて』と題し、体験談や倉本さんの故郷に対する思いを時々笑いを交えながら話していただきました。大会終了後には、全体の懇親会が行われ、根室地区からも踊りを披露しました。他の地区の部員さんからも大好評でいい思い出と交流ができた懇親会となりました。

たな一歩を踏み出そう」をサブスローガンに全体討議が行われ、志を同じくするJA女性部員の組織として協同の輪をひろげ、暮らしの向上を目指すことで一致団結し閉会となりました。



倉本聰氏による講演会



たな一歩を踏み出そう」をサブスローガンに全体討議が行われ、志を同じくするJA女性部員の組織として協同の輪をひろげ、暮らしの向上を目指すことで一致団結し閉会となりました。

女性部のページ

フレッシュミセス部会 メイク講習会

自分にあつた メイクを教わりました



マンツーマンでしっかりメイクを教えていただきました

去る11月16日(火)、ワミレスフェイスエステサロンベルから小森幸子氏、ビューティーアドバイザーの加藤由美子氏を講師に招きメイク講習会を開催いたしました。女の人はメイクをしてお出かけする機会はずあらず！ その時に自信をもつて出かけられるように自分に合ったメイクを教えてもらいたいものです。当日

は9人の参加者にマンツーマンで講師が付き、基礎化粧品でのお手入れの仕方から眉毛の書き方、リップの塗り方など2時間かけて細かく教えてもらい、その人に似合ったメイクを教えることが出来ました。講習会の後は和室でお茶会。最後まで仲間との時間を楽しみました。

「チーズを使ったおもてなし料理」の実演

去る11月24日(水)、別海町公民館で別海町酪農女性のつどいが開催され、当JA女性部からは部員14人が参加されました。

今年のテーマは「食育と家族の健康を!!」として、雪印乳業株式会社北海道支店 営業管理グループ食育担当の栄養士(剣持瑞穂氏)を

講師に迎え、講演会が行われました。

お昼からは「チーズを使ったおもてなし料理」の実演が行われ、チーズ2種の和風ロールサンドを作り、チーズ盛り合わせでは別海町周辺農家で作られています。チーズ(河崎牧場チーズ工場のまきばの小枝、おおも

ともチーズ工房ズック、カール、ロンドブラン、三友チーズ工場のクリームチーズ、雪印株式会社のごダチーズ)をお皿に盛り、試食会を行いました。参加者はチーズの食べ方に関心しながら講師の話に聞き入っていました。



北海道をもっとも〜っと食べようディナーパーティー

11月26日(金)、中標津町寿宴にて「北海道をもっとも〜っと食べようディナーパーティー」が開催されました。



今年会場では道産食材にこだわった料理がテーブルに並べられ、会場後方には地区女性協によるミルクスイーツコーナー、日本酒飲み比べ試飲、JA中標津牛乳の試飲コーナーが設けられ、根室地区女性協では、ミルクスイーツを3品(アイスクリームの生キャラメルソースがけ、ヨーグルトムース、ティラミス)を各

300人分用意、15分ごとに試食が行われましたが、どれも大行列ですぐに完売となりました。

また、北海道米の食べ比べと展示会、雪印、森永、明治の牛乳・乳製品それぞれの消費拡大PRが別室にて行われました。

最後には各農協からの賞品が当たる「お楽しみ大抽選会」が行われ終了となりました。



農業の多面的機能の重要性を再認識する

11月16日、別海町緑町の根室農業改良普及センター研修室において根室管内指導農業士会主催、根室管内農業士会後援により平成22年度根室管内指導農業士会講演会が、根室管内農業者及び関係機関職員31人を集め開催されました。

開催にあたり根室管内指導農業士会事務局で根室振



早速「農業の多面的機能を探る」と題し講演に移りました。内容は、根釧パイロットファーム開拓は世界銀行の外資によるものだったこと、自己の酪農経営についての考え方として、

興局農務課の種村係長から開会のしらせ、講師のニューフロンティアファーム代表・奥山秀助氏の経歴紹介をされました。

引き続き斉藤哲夫会長から開会挨拶があり、TPPについては断固阻止する方向で考えていただきたいと訴えられました。そして、今回の講演会は、担い手の養成を先頭に立って行ってまいります奥山氏に講演いただく旨の説明がありました。

勇気・決断・信念・実行を掲げて専念してきたこと、ニューフロンティアファームは、地域のリーダー的なメンバーで構成されていて、その主な活動の説明がありました。

食料・農業・農村基本施策においても言及され、平成20年度供給熱量ベースは41%であり先進国の中でも最低の水準であること、中国、インドの経済成長や地球温暖化などの環境の変化により、食料が逼迫する不安要因や食料不足で苦し

んだ経験について説明されました。



特に重要とする農業の社会的5つの機能の講義があり、第1に食料生産供給機能として、食料を生産している誇りを持つことが大切で、安全で安心な食料を供給する機能があること。第2に人格形成教育機能として、修学旅行生が農業体験を行っている時に、友達同士で喜びを感じている活き活きとした姿が人の本来の姿、それが伝わってくる喜びが自分の喜びでもあること、本当の幸せを感じる事ができる機能についての説明がありました。

第3には、地域活性化機能として、この地域で生産したものは、この地域で加工することで人口が今の約3倍となり、地域が

活性化する機能を提案されました。第4にリゾート保養的機能として、国民の癒しの場になる機能があること。第5に国土保全機能として、我々が住んでいるからロシアが入り込んでこないなど、領土を守る機能を説明されました。そして酪農経営は基本を怠らさず続けていくことが大切とアドバースがあり、大変貴重な講演会でありました。

～講師：奥山 秀助氏のプロフィール～

昭和9年生まれ
 昭和33年 上川管内風連町より単身入植
 昭和36年 1年間米国で企業的農業を学ぶ
 地域内でいち早く乳牛飼養頭数100頭を達成
 平成14年にニューフロンティアファーム設立
 平成15年に夢伝承・交流館建設
 平成16年に別海町グリーンツーリズムネットワーク設立

営農対策情報

根室農業改良普及センター

今年の草で搾れてますか？

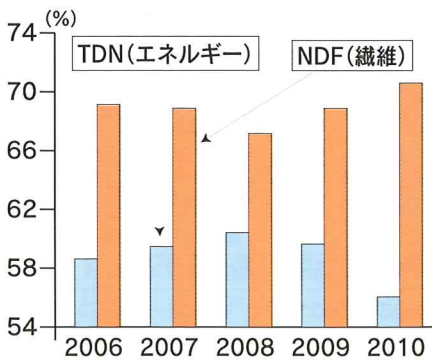
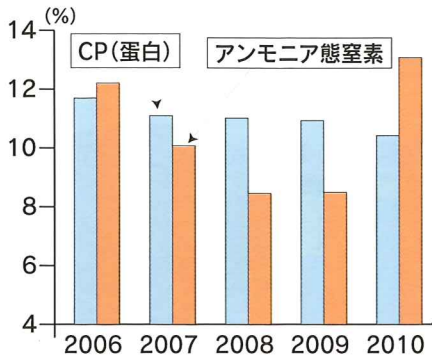


図1 栄養成分の推移(根室管内)
ホクレン粗飼料分析結果より

分析結果は、たくさんの数字が並んでいます。まず発酵品質を確かめるのに重要な数字から確認していきましょう。

一・粗飼料分析結果から

今年は5月が平年より気温が低く、それ以降は高めで、雨の多い年でした。数字的に見てみると5月始から8月末までの期間で、積算気温は平年比130%、降水量は平年比112%もありました。

この影響により牧草の老化が早く進み、牧草の繊維分の増加、蛋白の低下、栄養価の低下につながりました(図1、図2)。

これらが該当すれば、発酵品質が悪いサイレージと

- ① pH(ペーハー) 4.6以上
- ② 乳酸が未検出
- ③ 酪酸が0.3%以上
- ④ アンモニア態窒素が12%以上

二・サイレージ品質が悪い場合

粗飼料分析結果から、サイレージ発酵品質の状態を読み取ります。

① pH(ペーハー) 4.6以上

これらの数値が表1の目標値内であれば安心です。ただしそうでない場合は次の対策が必要です。

- ① pH(ペーハー)
- ② 乳酸、酢酸、酪酸
- ③ アンモニア態窒素

- ① 品質の良い2番草サイレージを半分まで増やす。
 - ② ビートパルプを増給する(上限4kg)。
- サイレージの品質が悪いからといって、濃厚飼料をこれまで以上に給与すると、粗濃比のバランスが崩れ、乳牛の健康面に影響が出る可能性があります。
- そこで併給飼料を活用して、1番草の給与量を減らす改善方法を示します。

三・品質の悪い1番草サイレージに対応した給与対策のポイント

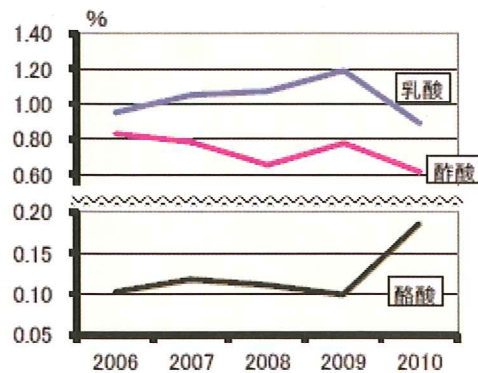


図2 有機酸の推移(根室管内)
ホクレン粗飼料分析結果より

言えます。特に③と④が該当する場合は給与量の制限をする必要があります。

③ルーサンやイネ科の入牧草を数kg給与する。

四・給与メニューを具体的に検討する時に

牛への負担を抑えつつ栄養を充足させるために、繊維質飼料を中心に増給を進めます。

給与方法の具体的検討は、農場ごとに、状況に合わせておこなう必要があります。粗飼料分析、乳牛の状態、粗飼料採食量、乳検成績等をモニタリングして、総合的に判断しましょう。

表1 発酵品質

区分	分析成分	略語	目標値
原物中%	pH	pH	4.2%以下
	乳酸	Lac	0.5~2.5%程度
	酢酸	Ace	0.5~0.8%程度
	酪酸	But	0.1%以下
	アンモニア態窒素	NH3-N/TN	8.0%以下
乾物中%	硝酸態窒素	NO3-N	0.1%以下



生乳課情報

平成22年11月30日現在

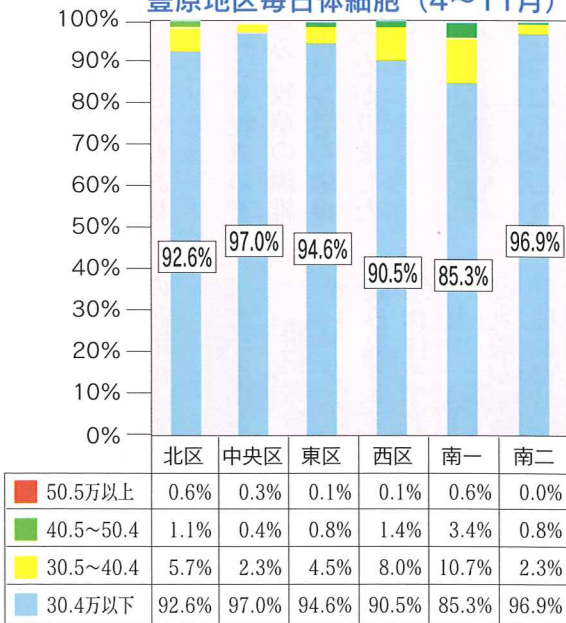
生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 2件 管内では 12件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件の発生です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では異常風味で 1件の発生です。

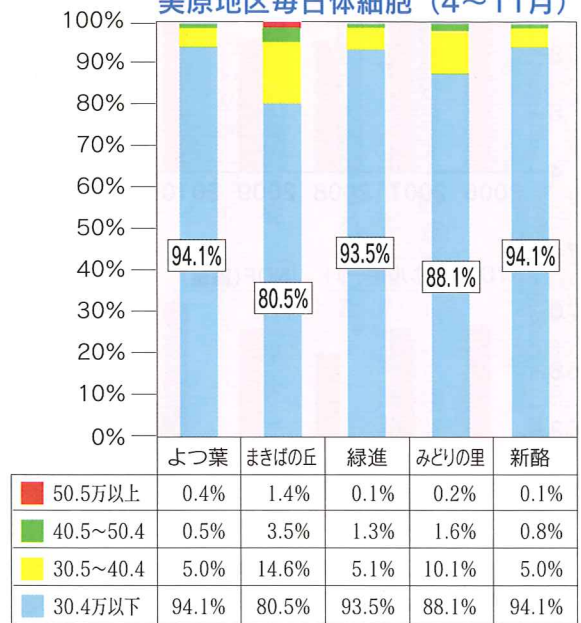
降雪期をむかえて

飼槽、牛床、フリーバーンなどの良好な維持と管理を忘れずに!!

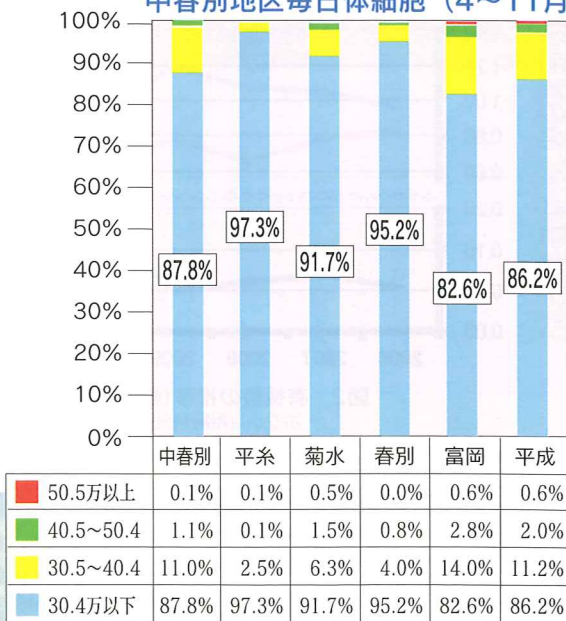
豊原地区毎日々体細胞 (4~11月)



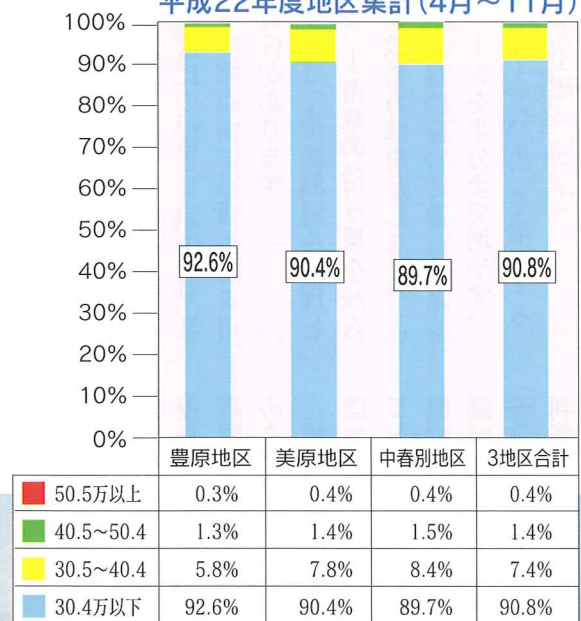
美原地区毎日々体細胞 (4~11月)



中春別地区毎日々体細胞 (4~11月)



平成22年度地区集計 (4月~11月)



情報を共有化し適正な申告へ

11月5日(金)農業者団地センターにおいて「JA中春別 青色申告会設立総会」が開催されました。

JA中春別
青色申告会
設立総会が開催

設立経過としては、平成22年分所得税・消費税申告より臨時税理士制度が廃止されることに伴い、農協での

務と大きく変更することなく取り進める形がとれたのではないかと思います。税制改正などが毎年あり対応

していくのは大変ではあります。申告会を通じて情報を共有化し適正な申告につなげていきたいと考えております」と挨拶がありました。

されました。また、午後より顧問税理士となる福田税務事務所による税務研修会が行われ、来年1月より始まります確定申告に向けて、申告スケジュールや記帳についての留意事項などの説明がありました。会員からは記帳の方法などについて質問があるなど有意義な研修会となりました。

- 第1号議案 申告会会則の設定について
第2号議案 会費及び事務委託手数料の設定について
第3号議案 事業計画並びに収支予算について
第4号議案 役員選出について
- | | |
|-----|-----------|
| 会 長 | 青 野 芳 樹 |
| 副会長 | 久 末 敏 幸 |
| 理 事 | 尾 形 春 喜 |
| 〃 | 佐 々 木 靖 裕 |
| 監 事 | 柿 本 鶴 雄 |



青野会長挨拶

申告書作成ができなくなることから、今年4月より農協関与申告者の皆様と協議を重ね、この度、申告会を組織し顧問税理士をおいた中で税務申告事務を進めることとなりました。

総会では、青色申告会設立検討委員会代表の青野芳樹さんより「制度の変更により今までの申告体制が取れなくなり、今回の申告会設立という結果になりましたが、皆様のご協力により、申告者においては現在の事



議長には、中春別地区の小原義男さんが指名され、検討委員会事務局より第1号議案から第4号議案まで提出され全て可決



記帳の説明に耳を傾ける参加者の皆さん



中春別農協年金友の会(会長・渡辺栄顕)では、10月5日から7日にかけて川湯へ2泊3日の秋季旅行へ行ってきました。

季節から紅葉シーズンとなっており、車中から見る紅葉を楽しみながら、これから2日間宿泊するホテル「きたふくろう」へと向かいました。

行く途中、パークゴルフ

をする方は近隣のパークゴルフ場へ、それ以外の方はホテルへ直行して休憩と二手に分かれて行動しました。

年金友の会 川湯秋季旅行

ゆっくり温泉に浸かって パークゴルフ、カラオケで 心も体もリフレッシュ!



10月にもかかわらず暖かい気温と秋の心地良い風の中で行うパークゴルフは格別の気持ち良さでした。パークゴルフ終了後はホテルへ戻り、先に到着している方々と合流。夜の宴会までの時間、温泉に入ったり、部屋でくつろいだり、売店で買い物をしたり、と皆さんそれぞれに空き時間を仲間と共に楽しまれました。

宴会が始まると、久しぶりに会う顔ぶれに会話が弾み大盛り上がり! 恒例のカラオケ大会も始まり、皆さん自慢の喉を十分に披露していました。その後は各自で二次会へ行ったり、もう

1回温泉に浸かったりと翌日まで自由に過ごしていました。

2日目、朝ホテルを出発し、一路「厚岸牡蠣まつり」会場へと向かいました。会場ではメインの牡蠣に、さんま、ホタテなど美味しいものが盛りだくさん。また、厚岸漁協直売所では、家族へのお土産や自分へお土産を各自購入していました。

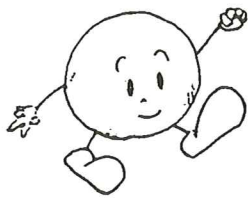
帰りの車内でも会話は途切れることなく、楽しい雰囲気の中、ホテルへと戻りました。

最終日の宴会ではビンゴゲームがあり、先着順からホテルきたふくろうよりお土産としてさんまの引換券や、その他の景品も用意していただきサービスも充実。みなさん大満足の宴会となりました。宴会終了後は、前日に引き続き、それぞれ自由な時間を楽しみながら旅行最終日の夜を終

えました。

最後になります。2泊3日と、あつという間でしたが、「楽しかった」「まだ泊っていたい」と嬉しい声を聞くことができました。疲れをゆつくりとついでいただき、次回もたくさんのお参加をお待ちしております。みなさんお疲れ様でした!!





ポテトドーナツ

5~6人分

じゃがいも	-----	200g	小麦粉	-----	200g
砂糖	-----	60g	ベーキングパウダー	-----	小さじ2
卵	-----	1個	グラニュー糖	-----	揚げる
牛乳	-----	80cc	バター	-----	30g

1 じゃがいもは、柔らかくゆでて熱いうちにつぶす。



2 卵を割りほぐし、牛乳と砂糖も加えて、よくかき混ぜる。ここにつぶしたじゃがいもを加えて、なめらかになるまで混ぜる。バニラエッセンスも入れる。



3 小麦粉とベーキングパウダーを合わせて、ふるいにかけて、やっとまとまるくらいにこねる。

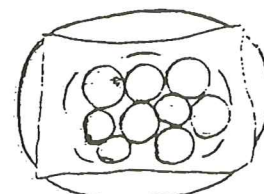


4 一口大のボールに丸め、たっぷりの油でゆっくり揚げる。



5 揚げたてのドーナツにグラニュー糖をまぶす。

♡ グラニュー糖にシナモン(香料)を加えると、さらにおいしくなる。



平成23年度 学生募集案内

働きながら学んで、同じ夢を持つ仲間をつくろう!

専攻科とは？

専攻科は、高等学校を卒業した農業後継者や実習生が農業に従事しながら経営や技術を学び、仲間づくりをするところです。

単位制の導入で学びたい科目が学習できます

自分の受講したい科目を自由に選択して単位を修得するシステムです。開講科目は、酪農に関する専門科目、教養科目、専攻科目があります。

また、開校時間も午前10時45分から午後2時30分までなので、朝夕の乳牛の管理作業に従事しながら学習ができます。

先端技術に対応した学習を実施しています

コンピュータを用いた経営管理などを取り入れた実践的学習ができます。

自家の経営に結びついた学習に取り組めます

草地、または乳牛に関する学習をゼミナールごとに分かれて取り組みます。また、夏季の農繁期(6月～8月)は自宅で学習し、2年目には農業簿記による経営診断も行います。

国外の実習が体験できます

在学2年目に希望に応じた条件(地域・規模など)で実習を行うことができます(国内、ニュージーランドなど)。

- 修業年限 2年
- 募集学科 農業特別専攻科(酪農経営科)
- 出願期間 平成23年1月17日(月)午前9時から平成23年1月28日(金)正午まで(土曜日及び日曜日を除く)。
- 検査日 平成23年2月8日(火)午前9時
- 出願資格 高等学校を卒業した者、若しくは平成23年3月末日までに高等学校卒業見込みの者で、酪農作業に従事しながら本校に通学可能な者(寮はありません)。
- 願書配付 平成22年12月6日(月)から

資料請求、お問合せは下記へ

科 訓
酪 理 実 践

北海道別海高等学校農業特別専攻科

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1

TEL(0153)75-2053 FAX(0153)75-2263

ホームページ <http://www.bekkai.hokkaido-c.ed.jp>

E-mail bekkai-t4@hokkaido-c.ed.jp

皆様のご協力
ありがとうございました

金融共済課からの
お知らせ



8,306万円の貯金額を達成

10月18、19日の2日間実施しました一日皆貯金におきまして、皆様のご協力により8,306万円の貯金額を達成することができました。

ご協力いただきました皆様方には心よりお礼申し上げますとともに、今後も皆様の生活のお役に立てる「JAバンク」として頑張りますので、宜しくお願い致します。

「推奨される 搾乳手順パンフレット」 を配布します

中春別良質生乳生産推進委員会（藤倉紀夫委員長）では、良質乳生産のため搾乳手順パンフレットの作成（ラミネート加工済）が決定され、写真モデル農家は地区内の組合員で後継者の『みらい塾2期生』のM君にモデルをお願いして完成しました。



優良農場における乳質改善の取り組み 第18回乳房炎防除対策研究会

去る11月19日、北海道乳質改善協議会主催による第18回乳房炎防除対策研究会が札幌市で開催され、良質生乳生産推進委員会より藤倉紀夫委員長、渡辺覚・西原珠美両委員が出席しました。

始めに基調講演として、「優良農場における乳質改善の取り組み」と題し、JA道東あさひ西春別の酪農家佐藤宗徳氏、JAえんゆうの酪農家・澤口豊氏の講演があり、動画を見ながらコーディネーターであるホクレン技術顧問・菊地実氏、北海道NOSAI草場信之氏との対話方式で行われました。

講演では乳房炎防除の基本は未感染牛を守り、リスクの高い牛をどのようにコントロールする事が必

要である。川上で起きた事は川下で処理されているため、川上での原因究明が重要であるとの事でした。特に両者とも乳房炎防除について、様々な取り組みにより感染ルートを随所で遮断しているところが特徴的でした。

当委員会としても「正しい搾乳手順」パンフレット及びマーキングテープの配布、また、今後菊地実氏を招いた講習会も予定しており、農協と一体となって良質生乳生産に向け啓蒙活動を推進してまいりますので、各位におかれましても良質乳生産による経営基盤の構築に取り組んでいただきたいと思います。

10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

10月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		755.041		29.91	30.87	-0.96	
無脂乳固形分		477.456		41.89	42.64	-0.75	
補給金		3.677		3.68	3.85	-0.17	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	302,932,732.1kg	3.68	3.71	-0.03
		ランク2	0	5,520,051.6kg			
		ランク3	-3	345,801.1kg			
	体細胞数	ランク1	2	254,824,406.7kg			
		ランク2	1	29,385,230.9kg			
		ランク3	-2	3,719,029.1kg			
合計				79.16	81.07	-1.91	

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	29円91銭
無脂乳固形分②	41円89銭
補給金③	3円68銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 3.96%
	農協 3.98%
無脂固形分率	全道 8.77%
	農協 8.76%
成分乳価	全道 75円48銭
①+②+③+④=⑤	農協 75円61銭
乳質乳価	全道 3円68銭
⑥	農協 3円73銭
乳代合計	全道 79円16銭
	農協 79円34銭
⑤+⑥	差異 18銭

議案

1. 平成22年度9月末定期監査に伴う整備改善事項の回答について
2. JA全国監査機構監査に伴う改善事項の回答について
3. 北海道常例検査に伴う指摘事項の回答について
4. 平成22年度半期ディスクロージャー誌による開示について
5. 年末年始の業務日程について
6. 「JA農業経営緊急支援資金」貸出業務事務手続、細則の一部変更について
7. 期中事業分量割戻(案)について
8. 平成22営農年度クミカン取引変更並びに貸越極度額及び供給限度額の変更・認定について
9. 平成22営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
10. 平成22営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
11. スラリーストア緊急保全対策事業について
12. 平成22年度北海道産業貢献賞(農業関係功労者)表彰候補の推薦について
以上原案通り承認

協議事項

1. 平成23年度酪農畜産政策・価格対策に係る組織討議(案)について
2. 平成22年度役員研修の取り進めについて

報告事項

1. 組合員加入について
2. 組合員の脱退予告について
3. 固定資産実査の終了について
4. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
5. 平成22年度9月末子会社の監査報告書について
6. JAバンク基本方針に基づく「業務体制に関する報告」について
7. JAバンク2010ラストチャンスキャンペーンの実施について
8. リース契約について
9. 平成22年度10月末営農生産関連実績について
10. 平成22年度資源循環型酪農推進事業に係る概算払請求について
11. 平成22年度畜産特別資金最終借入者について
12. 乳房炎防除対策研究会報告について
13. 固定資産の除却について



平成22年度 年末・年始の業務日程表

休業

日程 区分	平成22年			平成23年						
	12/30(木)	12/31(金)	1/1(土)	1/2(日)	1/3(月)	1/4(火)	1/5(水)	1/6(木)	1/7(金)	
事務所(除く信用)	午前中のみ営業									御 用 始
事務所信用窓口	平常業務					平常業務	平常業務	平常業務		
Aコープ中春別	午後3時まで営業			午後3時まで営業			午後3時まで営業			
給油所	午後3時まで営業 (給油・配達)			午前9時~午後3時 まで営業(給油・配達)			午前9時~午後3時 まで営業(給油・配達)			
倉庫	午前中のみ営業					平常営業		平常営業		
訪問介護事業所 「あさひな」	平常業務	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	
人工授精	平常業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	
共和育成牧場	(家畜管理業務のみ)									
生乳	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	平常業務	平常業務	平常業務		
南中春別マシンセンター	午前中のみ営業						午前中のみ営業	午前中のみ営業	御用始	

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務宅76-2475 平林工場長宅76-2603

南ジェイエーワンプ	午前中のみ営業								御用始
-----------	---------	--	--	--	--	--	--	--	-----

※作業依頼の連絡先 猿谷専務宅76-2076 高橋課長(携帯) 090-8630-6636

◎販売関連業務

- | | | |
|--------------|--------------|-------------------|
| (1)初生トク・素牛集荷 | (2)哺育・育成集荷 | (3)ホクレン市場 |
| 年内最終集荷12月28日 | 年内最終集荷12月30日 | 最終開催日12月29日(初生のみ) |
| 年明集荷1月4日 | 年明集荷1月7日 | 年明開催1月5日 |

◎人工授精業務

午前受付のみ業務、午後からは休業

◎緊急時の連絡先

- (1)停電……………北電72-2010
- (2)除雪……………中西課長宅76-2663、福島次長宅76-2157
- (3)給油……………(緊急携帯) 郡司係長080-6090-2923
- (4)飼料等配送……………(緊急携帯) 別海貨物(山口) 090-5072-3954
- (5)生乳検査……………平間係長宅0153-86-2130(緊急携帯) 090-2076-4014、中西課長宅76-2663
- (6)夜間バルク抗生物質検査…(緊急携帯) 090-2076-4014
- (7)FAX故障……………山形担当宅72-0477
- (8)その他……………成田調査役76-2615、佐藤課長宅76-2866、登部長宅75-0517

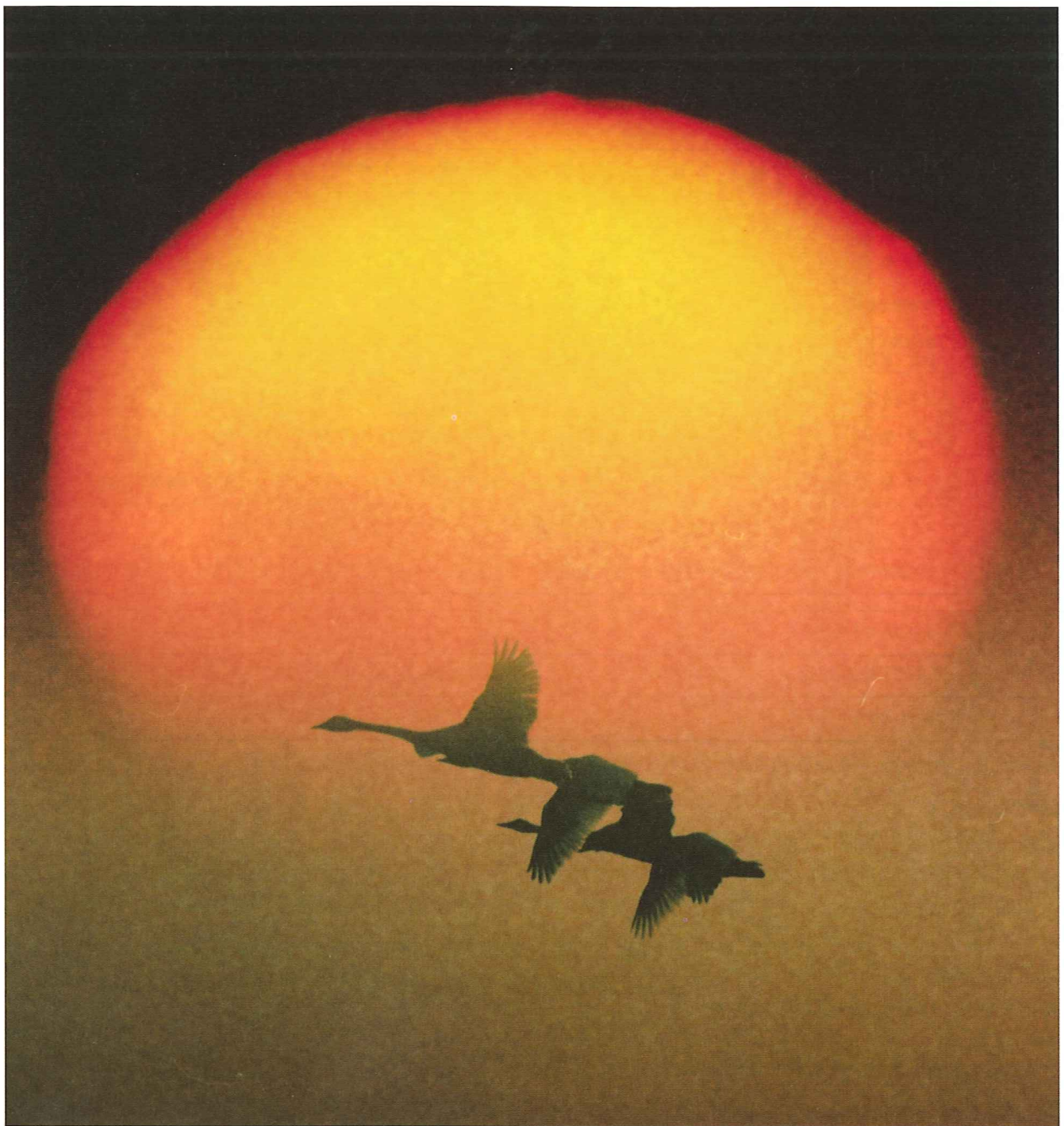
JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

●休業 12月31日(夕)~1月4日(朝)

●業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始

●緊急ヘルパー受付

- ★農協営業日 営農振興課 電話76-2241番
- ★農協休業日 高野課長 携帯電話 090-9515-0264
相澤係長 携帯電話 090-8900-9356



写真提供：南澤三郎氏

編集後記

▼今年も残すところ半月となりました。みなさんにとってどんな1年になったでしょうか。今年の7月から組合だより担当になって半年が過ぎました。文章を書くことが苦手な私には記事を書くことが挑戦！自由に書くことのできる編集後記には何を書こうか悩みの種でもありました。ですが、取材の際には声をかけてもらったり、美味しいものをいただいたりと嬉しいこともたくさんありました！これからも皆さんのお話になることと思いますが、いい記事が書けるよう頑張っていきたいと思っております。来年もよろしくお願い致します。

▼忘年会シーズンとなりました。忘年会やクリスマスマス、大晦日、お正月、みんなが集まり美味しいものを囲む機会が増えますね。ご馳走を囲み楽しい時間を過ごすという食べ過ぎ、飲みすぎになってしまうことは良くある話です。暴飲、暴食には十分に気をつけましょう。